

保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果(公表)

事業所名児童発達支援センターどれみ

保護者等数(児童数)41

回収数 32

割合 78 %

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	32				マット・三角マットを引いて活動しやすいようにしてもらえている。 帰りの会のスペースが改善され安心して過ごせます。	コロナ禍の中、大切なお子様たちをお預かりする環境の中で配慮が至らない点があり申し訳ありませんでした。ご心配をかけすことのないよう、環境調整していきます。
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	24	3	2	1	いつも気にかけてもらっていると思う 少ないと感じることがある。 クラスにより気になることがある。 専門性はわからないが、もう一人くらい職員がいてほしい。 丁寧に日頃対応してもらえてるので、現状に不満を感じるところはない。 PTの先生がお休みでPTが無くなったのは残念でしたが、STで代わりに全身を使う時間を入れてくれており、問題ないと感じている。	ご心配をかけして申し訳ありません。職員の異動・長期休養などに伴いご心配いただくような状態になる日もあつたかと思います。今後できるだけそのような状態にならないよう職員配置・及び育成も含め実施していきます。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境*1になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	29			3	先生方のお名前がわかると良いので工夫してもらえると助かります。 5Fのスペースで子どもは遊んでいるのですが見たことがないので見てみたい。 マット・歩行器など子どもに合わせたものを選んでもらえている。	新しいクラスでの活動でご指摘いただきましたように、職員の名前が分からず状態でした。改善をさせていただきます。 クラスによってはまだ利用していない場所があります。見学は今状況が難しいですが、確認していただけるよう工夫させていただきます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	28	4			いつもきれいに整理整頓されている。 部屋によって異なると思う。	
	5	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画*2が作成されているか	28	2		2	面談してもらった上で、親があやふやに感じている目標を明確にしてもら正在する。	

適切な支援の提供	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	28	1		3	療育の内容も含め子どもさんに必要なことを同時に伝えできるようにお伝えにお時間をお頂くことがあります。ご協力いただきありがとうございます。今後とも子どもさんの育ちをご家族の方と確認しながら療育を進めていけたらと考えております。
	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	29			3	実際の活動が見れていないので分からな い。
	活動プログラム*3が固定化しないよう工夫されているか	23			5	訓練の内容を一定にして欲しい。 季節ごとに色々と遊びを工夫してくれてい て、昨年と同じことをすることで、こんな風に 出来るようになったと分かるのがいいと 思いました。
	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	該当なし(並行通園児・就園年齢に達していない利用児の利用のため)				
	運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	30	1		1	どんな説明も丁寧にしてもらっている。
	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明がなされたか	29	1		2	説明・支援はとても丁寧にしてもらっている と感じている。親子ともに安心して利用で きています。
	保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング*4等)が行われているか	15	8	6	3	マザーズミーティングなどがないのがさみ しいが、見学ができる良かつた。 コロナのため仕方ないと思います。 アンケートや保育士さんと話す時間を持つなどよくやってもらつ ている。 コロナで中々難しいですが、12月頃には見学ができる、活動する姿を見 ることができたり、お話を聞く機会をもらえたりと良い時間でした。 通園を始めたところで、ミーティング等の機会がない。今後あ れば参加したい。
	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合 い、子どもの健康や発達の状況、課題につ いて共通理解ができているか	30	2			受診結果などは都度話をさせてもらっ ている。

保護者への説明等	14 定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	27	1	1	2	体長や行動など気にかけてもらっているので相談しているし、安心できる	毎日朝には前日の子どもさん様子や保護者の方のご意見などを共有させていただいております。必要に応じて紙媒体での伝達もしておりますが、一層、伝達方法の工夫をして参ります。
	15 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	8	8	8	8	コロナで仕方ないと思うがもう少し保護者交流ができたらいと思う。 以前同じクラスだったお友達のお母さんとお話したいなと思うことがある。	
	16 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	27	1	4		体調や装具の具合で栄養補給の内容を変更してもらったり、子どもの機嫌や状況に合わせて対応してもらっている。 どんなさいなことでも相談に乗って下さり、考えてもらえる。話を聞いてもらえるだけで楽になり救われます。 電話で連絡したこと が伝わっていなかつたことがあった。 歯医者を探している時に、ハートネットや子どもさんがよく通っている所を教えてもらい、無事嫌がることなく、毎月通っています。	子どもの体調の面や、日々の食事の様子など保護者の皆さんのお下さる情報から子どもの様子を把握したうえでの療育をさせていただけます。お忙しいところ様子をお伝え下さりありがとうございます。 長く付き合うことが必要な歯科等の医療機関、子どもさん・保護者の皆様にとってよいお付き合いになることを願ってご紹介させていただけます。
	17 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	29	1	1	3	毎回細かく様子を教えてもらっているし、安心できて親もうれしい。	
	18 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	27	1	1	3	HPで活動内容や楽しそうな子ども達の写真を見ることができてうれしく思います。 毎月のおたよりも楽しみにしています。	通信やHPの記事は子どもたちの普段の姿を広く知っていただくためのものです。楽しんで読んでいただけるよう一層工夫をして参ります。
	19 個人情報の取り扱いに十分注意されているか	31			1	不安に感じたことがない	
	20 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか。	27	1		4	待ちこみアプリ・メールをもう少し活用できると良いと思います。	毎月1回は防災訓練を実施しています。保護者の方にも実施した際にはご連絡をさせていただくようにします。
非常時等の対応	21 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	27	2		3	保護者に対して避難訓練が実施されたかを具体的に記録表などで知らせてもらえるとうれしい。	

満足度	22 子どもは通所を楽しみにしているか	29	3		<p>迎えに行くと笑顔で、家に帰っても穏やかに過ごす様子がある。</p> <p>保護者に対してどのような避難訓練が行われたのかを具体的な内容を知らせてもらえると嬉しい。</p> <p>通うと楽しめるようになった。</p> <p>お迎えに行くとすごく良い表情であり、よく笑っているので楽しみにしていると思います。</p> <p>とても楽しみにしている</p> <p>変えるときに泣くほど楽しみに通わせてもらっている。</p> <p>楽しみにしているかはわからないが、行くと楽しかったと報告してくれる。</p>	<p>お子さんが楽しみにしてくださっているとのご意見を頂きながら、十分に支援が行き届いていないという思いをしてくださっている保護者の方には、大変申し訳ありませんでした。年度途中でクラスが変化したり、人数が増えることで不安を感じて、それをお伝えいただけない程の事態であったことを受けとめさせていただきました。特に子どもさんの利用が多くなるなどの変化がある際には十分な配慮が出来るよう職員体制など見直しが出来るようになります。</p>
	23 事業所の支援に満足しているか	29	3		<p>家では分からないお友達との関わりの様子を教えてもらえるのが楽しみ。自宅以外でも可愛がって大切にしてもらえる場があることがありがたい。職員が少ないと感じるときには自宅で見ていた日もあります。新しい子どもさんが入られたときに、当初から利用しているわが子を十分に見てもらえるか不安だったので。</p> <p>親子で満足して通園しています。</p> <p>専門の人からの指導を受けておらず、遊びの中でわが子に必要がないのかが分からない。</p>	

*1 この部屋で何をするのかを示せるように、机や本棚の配置など、子ども本人にわかりやすくすること。

*2 児童発達支援を利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的な内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

*3 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。

*4 保護者が子どもの行動を観察して障がいの特性を理解したり、障がいの特性を踏まえた褒め方等を学ぶこと。子どもが適切な行動を獲得することを目標としている。

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

事業所名 児童発達支援センターどれみ

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	6	1	子どもの状態をみて使用する部屋などを決めている	曜日によっては、子どもの活動量と広さが合っていないので、工夫が必要である。
	2	職員の配置数は適切である	3	4	職員配置を特に集団では増やす等している	年度途中に、新たに利用希望される子どもいる為、職員配置の状況も加味しながら受け入れる必要がある。場合によっては人員を増やす工夫が必要。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	7			構造化まではいかない空間もあるが、必要に応じて設定を実施する
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	7	0	冬の時期の安全な加湿器を使用し、換気など特に注意している。	
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	7		日々の業務について振り返りなどを実施している。	昨年度以降、子ども達の姿を療育後すぐに共有している。他事業との情報共有は翌朝にしており、できるだけ子ども達の今の状況に沿った支援が出来るようにしている。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	7		コロナ対応などで出来なかった保護者会などもあるが、個別でご意見を頂いたことについては改善をしている。	ご意見を頂きやすいように、個別で療育を見学しながら、お話をする時間を設けている。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	7		子ども達の生き生きとした姿や、療育はどのようなことをしているのかを分かりやすく、伝えられるように工夫しています。	
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	7		コロナ対応で外部機関の来所ができなかった。	
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	7		昨年度と同様、事例検討会や研修会など月に2回は実施。非常勤職員も参加できるように、勤務体制を取っている。	
	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	7		アセスメント研修を実施し、アセスメントの読み取り方など工夫している。	
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	7		同上	
	12	児童発達支援計画には、「児童発達支援ガイドライン」の「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	7			
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	7		職員会議などで共有することをしている	事業所内の職員全員で共有できる場がないため、朝の打ち合わせ時間などにも共有できるよう工夫が必要。
適切な支援の提供	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	7		会議時間などでチームで対応できるように立案・意見交換の時間を取っている	児童発達支援事業にかかる職員で主に立案・意見交換しているが、事業所として他職種にも理解を促す機会をとる必要がある。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	7		会議時間などでチームで対応できるように立案・意見交換の時間を取っている	
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成している	7		毎朝の朝礼で直近の子どもの姿を共有している	欠席した職員への共有が、紙面になっている。確認する時間を確保することが必要。
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	7			

	18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	7			送迎によっては共有できる場がないため、時間などの工夫をする必要がある
	19 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	7			記録をしているが、支援検証はそれぞれの朝礼時における報告にて改善につなげている
	20 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	7	モニタリング会議を実施している。		一部職員のみの参加で開催されることもあるため会議内容の周知方法を工夫したい
関係機関や保護者との連携	21 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	7			
	22 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	7			
	23 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	7			
	24 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	7			
	25 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	7	希望により文書を作成している		
	26 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	7	希望により文書を作成している		
	27 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	7	職員研修を外部機関にて実施(年3回程度)		
	28 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある				並行通園のため該当なし
	29 (自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	7			センターとしての機能が事業所内で職員に周知できていない点があるため、年度初めなどに伝達を行う。
	30 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	7	保護者と療育を見学しながらお話を出来る時間を取っている。		
	31 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	7	アンガーマネジメント研修を保護者向けに実施予定であったが、今年度はコロナ対応のため中止になった。		
保護者への説明責任等	32 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	7			
	33 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	7			
	34 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	7			
	35 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	6	1 年3回程度保護者向けの会を実施している		コロナ禍で対応できなかった部分もあり、ウェブ上の開催等検討していきたい。
	36 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	7			
	37 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	7			

	38	個人情報の取扱いに十分注意している	7			
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	7			
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	5	2	コロナ対応で地域との交流が難しいが、近隣の競技場などを借りるなどして子ども達が近所の公共施設で過ごす時間を取っている。	
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	7		地震・火災・防犯など各テーマで場合によっては、子どもにも参加してもらい、月1回訓練を実施している。	
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	7			
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認している	7		職員間で共有のため、特に児童発達支援に関わる職員間で緊急時の対応が出来るよう一覧にして把握している。	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	7		指示書を頂き、食事課とも献立ごとに共有している。	
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	7		毎月一度ヒヤリハットに関する会議を持ち、事故につながらないようにしている。	
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	7		虐待に関する研修を事業所内にても実施している	
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	7			